

内装タイル

内装タイルといえば浴室等の水廻りによく使われているシーンをイメージされる方が多いと思います。タイルには水に対して強い、汚れが落としやすい、経年劣化しにくいといった特徴があります。製品の材質によっては吸水率が高いものや、薬品に弱いものもあるので選ぶ際に注意が必要ですが、美観やメンテナンス性の高さをタイルに期待されている方は多いのではないのでしょうか。

最近では水廻り以外にもおしゃれなお店の内装やお住まいのこだわりスペースなど、様々な場所で使われており、機能以外に意匠面でタイルを採用されることが増えています。今回は内装タイルについて製品をピックアップしながらご紹介していきたいと思います。

■水廻りでの使用



JPS●ジャパン/シロ

JPSのサンプル
請求はこちらから



PAL●レトロモザイク

PALのサンプル
請求はこちらから



タイルを水廻りで使用する事例は今も多く、タイルの耐水性や高いメンテナンス性によるものが大きいと考えられます。以前と比較すると特にキッチン廻りにタイルを使用するケースが増えています。キッチン廻りにタイルを選ぶ時は（もちろんお好みで結構ですが）、油污れなどを頻繁に清掃することを考えると、表面の凹凸が少なく、汚れが落ち易い面状を選んだ方がその後のメンテナンスは容易になります。ちなみに通常の汚れは水拭きで十分落とすことができますが、こびりついた油などは市販の中性洗剤を薄めてスポンジ等に含ませてふき取ってください。

■内装タイル・人気の色



NV●ネーヴェ

NVのサンプル
請求はこちらから



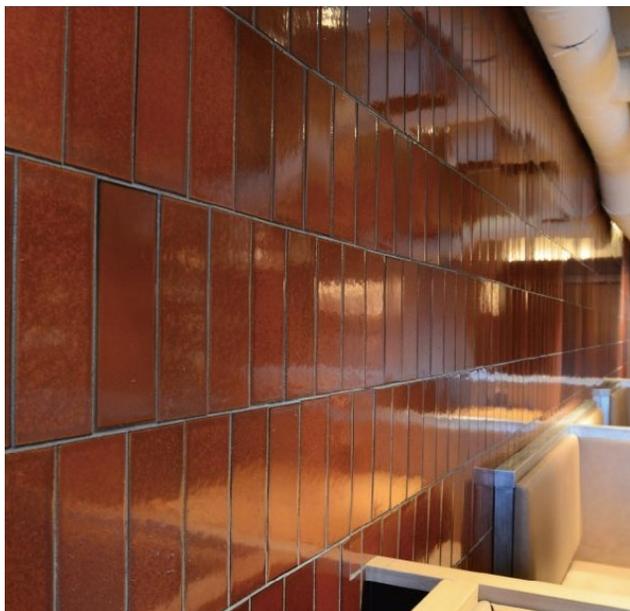
PF●アマンド

PFのサンプル
請求はこちらから



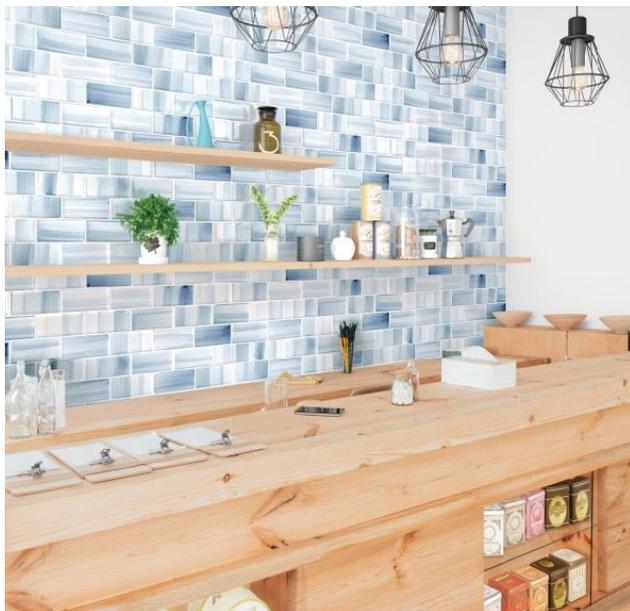
内装タイルには豊富なカラーバリエーションがあり、標準品として流通している全製品を色調だけで比較すると外装タイルより選べる幅は広いのではないのでしょうか。あくまで当社データになりますがその豊富なバリエーションの中でも「白」が最も人気の色です。ベースカラーなので使いやすいということも大きな理由の一つですが、それ以外にもインテリアの空間には他部材や家具など多くの色との相性を考慮する必要があり、どんな色とも相性が良い「白」は重宝される傾向にあります。余談ですが、色彩心理学では「白」には「清潔」、「明るさ」、「純粹」などのイメージがあるとされているそうです。

■意匠性を重視して選ばれるケース



JPM●ジャパン/マホガニー

JPMのサンプル
請求はこちらから

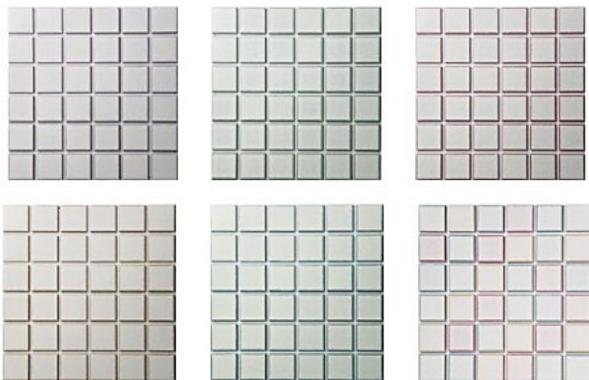


BE●レクタンウェーブ

BEのサンプル
請求はこちらから



■機能性タイル



●KB カルバ

KBのサンプル
請求はこちらから



●ZAN アーキスタック

ZANのサンプル
請求はこちらから



意匠性だけでなくタイル自体に機能がついた製品があります。弊社では防汚・抗菌・抗ウイルス・防臭の「ハイドロテクト加工」を施した内装用タイルを取り扱っています。

* 両製品共に外壁への施工も可能となっておりますが、外壁用と違いハイドロテクトの空気浄化、セルフクリーニング効果はありませんのでご注意ください。その他詳細に関しては製品ページ、WEBカタログの技術情報「光触媒技術 ハイドロテクト」ページをご覧ください。

■内装壁タイルのこれから

海外の内装タイルは最新の設備・技術で生産するため、目新しい製品が多くトレンドを感じることができます。一方日本で作られる製品は海外と比較すると、より「焼物」としての風合いを重視しており、海外のお客様にとっては日本の昔ながらのトンネル窯で生産するタイルはむしろ新鮮に映るそうです。

ここ数年を振り返っても今までには無かったような形状の内装タイルが次々と世に出てきています。「おうち時間」と呼ばれる時間がインテリアへのこだわりを今まで以上に醸成させ、内装タイルの需要はより高まるのではないのでしょうか。

今回「機能性タイル」をご紹介しましたが、仕上げ材・意匠材としてだけでなく皆様の生活の中でお役に立てる様な機能・性能をもった製品も今後現れるかもしれません。

経年劣化に強いタイルは歴史的な建築物に触れる際にも目にすることが多く、当時の様子や情景をそのまま現代に伝えていきます。

サステナブルな建材「タイル」というのは外装だけでなく内装タイルにも言えることかもしれません。

是非インテリアにタイルをご検討ください。

内装壁タイルの製品ページは
こちらから



総合カタログ請求は
こちらから

